＜様式１＞

令和３年度　さいたま市立日進中学校　自己評価書

校長　田　所　　泰　久　印

１　学校で設定した「令和３年度の目標」及び関係する「評価項目」について

（１）さいたま市の授業づくりを基に、授業改善，指導方法の工夫に努め，学ぶ楽しさ，分かる喜びを味わえる授業を展開し，基礎学力の向上を図る。（評価項目：学習指導）

（２）「安心・安全な学校」であるために、いじめや不登校ゼロを目指し、積極な生徒指導，教育相談体制の充実と関係機関との連携を図る。（評価項目：生徒指導・教育相談）

（３）学校評価を生かした教育活動の改善と教育環境の整備を図る。（評価項目：学校運営）

（４）保護者・地域との連携による教育活動及び小・中一貫教育の推進を図る。（評価項目：PTA 活動・部活動育成会・地域社会・教育課程）

（５）ＩＣＴを活用した授業の工夫・促進を図る。（評価項目：学習指導・教育課程・施設・教材）

（６）学校業務改善計画を基にした、ワークライフバランスの充実を図る。（評価項目：学校運営・諸会議）

２　評価結果について

（１）　保護者、生徒向けアンケートで、学習に関する項目すべてでプラス評価が８０％を超えている。学習指導に関しても、保護者アンケートでは８７％を超えている。一方で、前年度比較では、生徒についてはポイントが落ちている。新型コロナウィルス感染症第５波の影響が大きく、授業進度等で混乱した。オンライン授業の導入等を端緒に、授業に参加できた生徒もいた。タブレットの扱いでは、さらに課題解決に尽力しなければならない。
「よい授業」集計によると、市平均と比較して、「授業スキル」が高いが、「授業マネジメント」で下回っている。７月調査より１１月調査の結果について改善されている。

（２）　生徒指導等で，保護者、生徒向けアンケートで、「安心・安全な教育環境」について、８４％以上、前年度比較で+４ポイントのプラス評価だった。教職員アンケートでは、いじめ・不登校の対応について、９３％が適切であったと回答している。指導を行う上での共通理解のむずかしさがある。なお、「思いやりのある心豊かな生徒への成長」については、９０％以上の保護者、生徒がプラス評価を示している。

（３）　教育活動の改善等について、教職員アンケートにおいて、朝の職員打合せや会議の運営，提案については９０％を超える評価だった。一方で、校務分掌の職員相互間のバランスの項目は８０％を下回った。不均衡を感じている職員がいることが示された。

（４）　保護者、地域との連携した活動等で，教職員アンケートでプラス評価が９０％を超えた。一方で、保護者、生徒アンケートでは、「教育活動の公開」や「積極的に耳を傾けているか」については、７割前後のプラス評価となったが、前年度より２～７ポイント改善されている。新型コロナウィルス感染症対策のため、学校公開を一度も実施できなかった現状を反映されていると考える。
小・中一貫教育では、地道に実績を重ねてきたが、小中合同研修の機会が少なかった。

（５）　ＩＣＴを活用した授業については、ＧＩＧＡスクール構想の急速な導入に対応し、生徒アンケートでは、８６％が「活用できた」と回答している。教職員では９５％以上のプラス評価だった。

（６）　「働き方改革の適切さ」については、教職員の７０％以上がプラス評価をしているが、業務の偏りや効率化について、まだまだ課題が山積している。

３　次年度に向けた具体的な改善策について

（１）　一人１台端末の有効性を生かし、新たに導入するスタディサプリの活用の研究や、授業マネジメントの改善に向けての研修等を取り入れ、「個別最適化の学び」の達成に向けて、各自研鑽を重ねるとともに、学校として、「わかる喜び」を生徒一人ひとりに味わわせる授業を提供していく。

（２）　生徒指導、教育相談の組織的な運用により、関係機関との連携を十分に図れていることを生かし、生徒の変容等の観察を徹底し、関係部会での情報共有の効果的な運用を進めていく。

（３）　教職員関係の会議の効率化、効果的な運用について、さらに進めていく。あわせて、生徒の学習環境の整備として、生徒自ら改善を図る環境づくりをテーマに研究する。例えば、教室掲示、タブレットの効果的な運用などに着手する。

（４）　新型コロナウィルス感染症の動向を見極めながら、保護者への学校公開、コミュニティスクール開始年度に合わせた、意見収集の場を、段階的に設定していく。

（５）　タブレットを導入について、教員の指導力向上について、さらに研修を積む。時代を見据えてＰＣの使用を授業に取り入れる必要に答えるため、引き続き ICT サポータを招いていく。

（６）　「働き方改革」の実現に向けて、整備されてきたＩＣＴ環境の活用を考えていく。あわせて、スクラップ＆ビルドの「スクラップ」についても研究していく。